



御所市議会議員

こんにちは！〈市議会報告 vol. 28〉

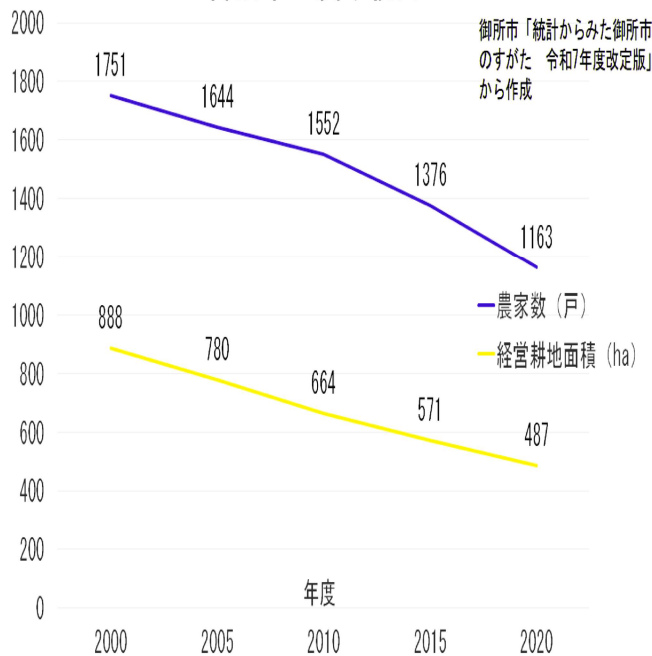
川本まさき です

2026年1月 発行人：川本雅樹

ご相談・連絡は下記まで

： 川本 雅樹
〒 639-2314
御所市幸町296-1
TEL 090-9881-0077
FAX 0745- 62-3858
Mail dffnq316@yahoo.co.jp

御所市の農業統計



2000年～2020年の農家数、経営耕地面積の推移。20年間で農家数は66%、経営耕地面積は55%に減っています。

農業機械購入に補助金なし

明日香村は3割補助

12月定例会は12月4日から12月16日まで、13日間開かれました。私の一般質問は、①御所市における米作りの現状と課題、②学校給食の2点について、12月8日に行いました。採決では、当局から提出された議決案件16件の全てを議決しました。私は全ての議案に賛成し、全ての議案が可決されました。

(川本) 1点目は、御所市における米作りの現状と今後の施策についてです。昨年の夏以降、米の価格が高騰し、スーパーでは銘柄米でなくとも5kg、4000円～5000円で販売されています。米は日本人の主食であるだけに消費者にとつては、たいへん負担が大きいと言わねばなりません。

一方で、生産者はどうでしょうか。今年は農協の買取価格が30kg、15000円と昨年や一昨年に比べて上昇したものの、米作りを続けているのか、お答えください。

(理事者) 零細農家に対して、限定的に実施している補助制度は現在のところございません。しかし、認定農業者に限定せずに、「御所市土地改良事業補助金」を設けています。これは水路や道など農業



しく、明日香村もコロナの特別な時期を除いて補助はしていないようです。岐阜県下呂市で景観と農地を守るため、2戸以上が共同して合わせて30アール以上の農地を耕作する兼業農家が機械購入する場合、費用の一部を助成しています。今後、支援策を研究してまいりたいと考えます。

(川本) これから研究するとかおっしゃって、本当にどんなふうにしてしようとしているのか全然伝わってきません。どなたか答えてください。

(市長) 機械が壊れた際に農業を辞めていかれる農家があるというのは私も把握しています。その他にも水路が傷んだことで、それを機に農業を辞めていかれる農家もあります。公金の投入の公平性であったり、公益性という観点から、まず、この土地改良の補助制度の改定を行わせていただきました。

(川本) では、実績はどれほどですか。

(理事者) 令和7年4月以降で13件です。2事業体が支払いに至っておりませんので、現在の支払総額は529万4000円です。

(川本) 農機具の補助について、全国的には、岡山県真庭市、岡山県高梁市、長野県長野市、長野県飯島町、岡山県瀬戸内市で行っています。先ほど個人に対する補助はできないと言われたが、例えば、地震の被災者に対して300万円

の補助がありますが、これも個人に対する補助です。個人かどうかは一番大きな理由にはなりません。要はどう支援をしていくかということです。

(市長) 農業機械については、議員おっしゃることも一理あるかと思いますが、共同利用する方法も選択肢としてあるのではないかと考えています。まだまだ議論の余地があると思いますが、御所市の耕作放棄地対策として強いメッセージを発信できるような施策を考えていきたいと思っていますので、引き続き御協議を頂けたらと思っています。

(川本) 市長が共同の方向性もあるとおっしゃいました。それでは、具体的に共同の方向をするためにどれだけ音頭をとったり、骨をおられましたか……。案外、共同って難しいんですよ。使ったとき、いつときになつてしまつて使いたい時に使えないと。「じゃ、もう自分で持つわ」というのがあって、高い機械ではあるけれども、農家が皆、それぞれ機械を持っている側面もあるんです。だから、共同というのは難しいんですよ。簡単にはいかないと私は思っています。

(裏面に続く)



12月議会の一般質問がインターネット配信されています。上のQRコードを読み取って、ご視聴下さい。

（市長）私が申し上げさせていた
だいた農機具の共同利用は、農業
者のご代表である農業委員のみな
さんとの意見交換の際にお話があ
りました。そこについての施策の

研究は、深くまで至っていないの
が現状でありますので、今一度、
農業委員の皆さんと連携を強化し
て、現場の声を吸い上げながら、
御所市の農業の実態にあった支援
策というものを考えてまいりたい。

（川本）おっしゃるように農家の
方の声を聞いてほしいんです。高
齢者の方、どういう思いでいま農
業をやっているのか。若い人がな
かなか入ってこれない。それは
何故なのか。足を現地に運んでほ
しいです。そのところが、私が
一番、御所市の農政に対して言い
たい点です。

「多面的機能支払交付金」 の説明をもっと丁寧に！

（川本）次に、多面的機能支払交
付金についてお尋ねします。

これは「農地や水路、農道など
の地域資源を共同活動により保全
管理している農家組合、土地改良

区、自治会などで構成される活動
組織に対して交付金を交付する制
度」です。令和7年度の取り組み
状況として御所市では2つの大字
で実施され、2つの大字でこれか
ら取り組みうとされているものと
ですが、近隣の市を見てみます
と、樫原市で14カ所、田原本町で
13カ所、葛城市で12カ所、広陵町
で11カ所、高取町で9カ所、桜井
市で8カ所、明日香村で7カ所と

なっています。御所市でももう少
し事務作業に対する援助や組織化
の指導などを行うことで対象集落
を増やせないでしょうか。

（理事者）交付条件を緩和するこ
とで利用組織の増加につなげるた
め、令和5年度から対象農用地の
基準面積を10ヘクタールから5ヘ
クタールに変更いたしました。本
市でこの制度を活用している組織
体が少ないことは認識しています。
先進事例を参考に利用しやすい
仕組みを研究しています。合わせ
て制度の周知を行い丁寧に説明し
ていきたいと思っています。

（川本）近隣の他市町村は御所市
よりも箇所数がもっと多いですが、
この差はどこから来ていると思わ
れますか。

（理事者）一つはこの制度を活用
するに当たって中心的に動いてい
ただく方が不足しているのかなと、
もう一つは、補助を受けるに当たっ
て事務が煩雑ですので、その煩わ
しさが原因しているのかと考えて
います。

（川本）私は、他のところも自然
発生的に来てくださいますというん
じゃないと思います。いろいろ現
場を見て相談も受けて、具体的に
指導をされている。中心となる人

がいるかどうかは、二の次の問題
で、こうすれば交付を受けられま
すよ、こうすれば要領にのります
よという指導をされていますか。

（理事者）現状、利用者の立場に

立つて懇切丁寧に説明しているか
と言われますと、そこは少し弱い
と思いますので、今後しっかりと
丁寧に説明に心がけていきたい。

「オーガニックビレッジ 宣言」を行なっています？

（川本）耕作放棄地にオーガニッ
ク農業（環境保全型有機農業）を
実施できないでしょうか。

農水省は2021年に「みどりの
食料システム戦略」を策定し、
2050年に耕地面積のなかに占
める有機農業の割合を25%にする
目標を掲げました。そして、この
戦略のもとで、有機農業の生産か
ら消費まで一貫し、農業者だけで
なく事業者や地域内外の住民を巻
き込んだ地域ぐるみのモデル的市
町村をオーガニックビレッジとし
ています。

オーガニックビレッジとなるた
めには、国費の支援を受けながら
試行的に有機農業の生産、流通、
加工、消費の取り組みを行って期
間5年の「有機農業実施計画」を
策定します。策定後「オーガニッ
クビレッジ宣言」を行い、策定し
た計画の実現に向け、計画に基づ
いた取り組みを進めていくことに
なります。御所市も積極的に手を
あげてはどうでしょうか。

（理事者）オーガニック農業は、
国も力を入れて取り組んでおり、
地元の農産物のブランディングに
も寄与しています。一方で、従来
農業と比べ、収量の減少や新たな
栽培技術の習得、販売先の確保と
いった種々の課題があります。生
産者の意見を聞きながら、先進地

域に学び、本市での有機農業実施
の可能性と制度の研究を進めたい。

（川本）オーガニック農業は、化
学肥料や農薬をできる限り使わず
に、自然の力を生かした農作物を
育てる農業です。メリットは、安
全安心というのがあります。考え
るにあたって、先進地である長野
県松川町に視察に行かれたらどう
ですか。

（理事者）ありがとうございます。
近くに宇陀市があります。宇陀市
は日本で最初にオーガニックビレ
ッジ宣言をしたと聞いていますので、
近い所から始めたいと思います。

学校給食

市長答弁…：交付金の見通しがつけば令和8年度 も小中学校とも無償化でいきたい

（川本）2点目は、学校給食につ
いてお尋ねします。

令和7年度、御所市では学校給食
費について市内小中学校に通学す
る児童・生徒の給食負担金はなし
で無償化が行われました。この無
償化の財源は、新型コロナウイルス
感染症への対応を目的に創設さ
れた「地方創生臨時交付金」を活
用されたということです。

石破茂首相は令和7年2月17日
の衆院予算委員会で「まずは小学
校を念頭に、地方の実情等を踏ま
え令和8年度から実施する」と答
弁されています。学校給食費の無
償化を実施することについては、
与野党問わず大筋の合意が成立し
ている状況です。来年度も「小中



極楽寺ヒビキ遺跡を案内する看板が山麓線沿いの北窪にできました。極楽
寺ヒビキ遺跡というのは、5世紀に日本列島最大の集落であった南郷遺跡の
一部で、「王の高殿」と考えられています。2004年10月から2005年
3月まで発掘調査が行われました。成果として、建物の柱が平たい板柱であっ
たことや生活用の土器の出土が少なく、王が国見を行った高殿であると推察
されました。柱の位置は室宮山古墳から出土した家形埴輪と板柱の向きや並
べ方の比率が全く同じであることが分かり、神戸大学の黒田龍一名誉教授が
CGで再現されたのが、よく目にする極楽寺ヒビキ遺跡の高殿の復元イメー
ジです。これは、かなりの人々が知っ
ていて、現地周辺でも「極楽寺ヒビキ
遺跡はどこですか」とよく聞かれる状
況でした。私はそんなことも踏まえて、
今までに令和4年6月定例会、令和5
年3月定例会、令和7年6月定例会の
3回にわたって一般質問で看板設置を
求めてきました。その結果、今年11月
4日によりやく実現しました。

学校とも無償化」が継続されると
考えてよろしいでしょうか。質も
量も保障された「学校給食の無償
化」に一層の努力を期待します。

市民からは「給食無償化は助かる」
「物価が高くなっている中で本当
にうれしい」という声を頂いてい
ます。このことに関する市長の決
意をお聞かせください。

（市長）現時点では国の具体的
な制度設計が示されていません。こ
のため、今後は国の補正予算によ
る経済対策の内容や令和8年度予
算における交付金制度の設計の動
向を注視しつつ、学校給食無償化
について検討を進めていきたい。

（川本）国の動向がまだ定まっ
ていないということですが、最近、
小学校については前向きに、中学
校についてはまだということを開
いたことがあるのですが、そんな
ことはありませんか。

（市長）議員が言われたように、
今、小学校の給食費無償を先行し
てやっていくのではないかととい
う情報を耳にしています。交付金
の活用の見通しがつけば、令和8
年度についても無償化の部分につ
いて継続していく方向で考えてま
いりたいと思っています。

（川本）学校給食は、命をつなぐ
給食という意味を持っています。
御所市のいろいろな課題の中でも、
学校給食の無償化は、本当に喜ば
れていますから、これを何として
も継続してほしいと思います。